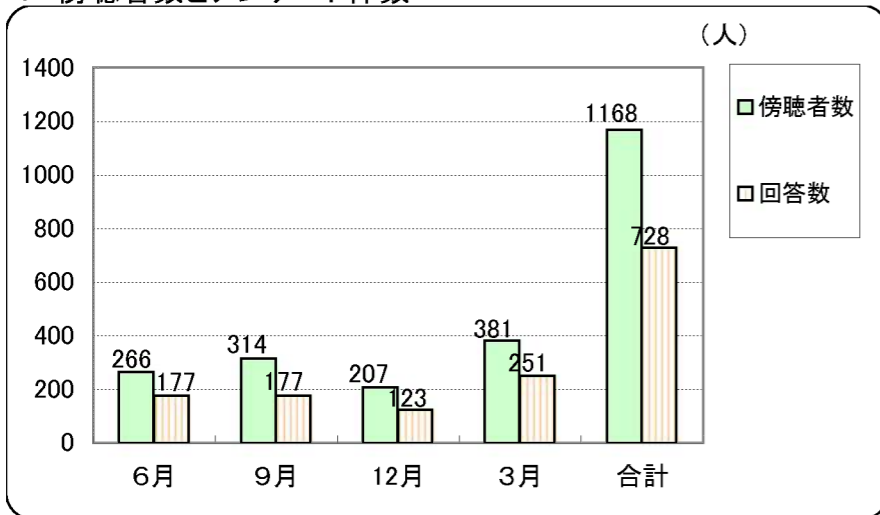


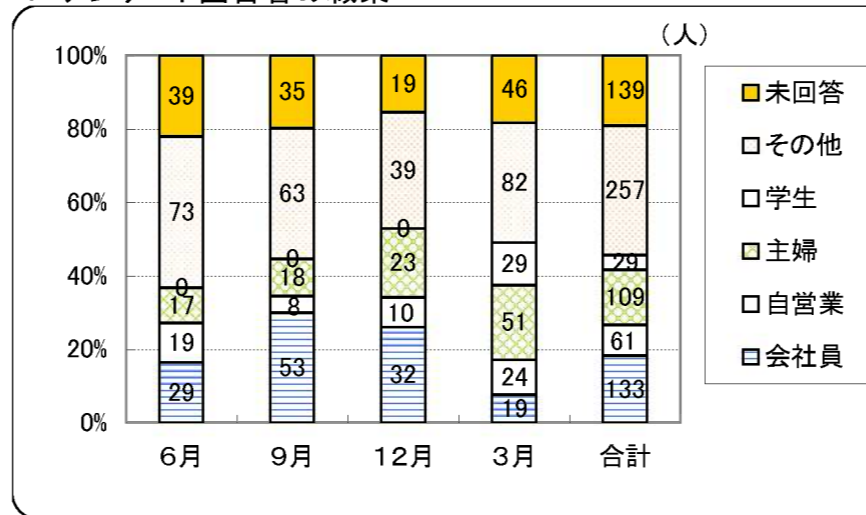
【平成22年6月から平成23年3月までの定例会に関する傍聴アンケートの結果について】

1 傍聴者数とアンケート件数



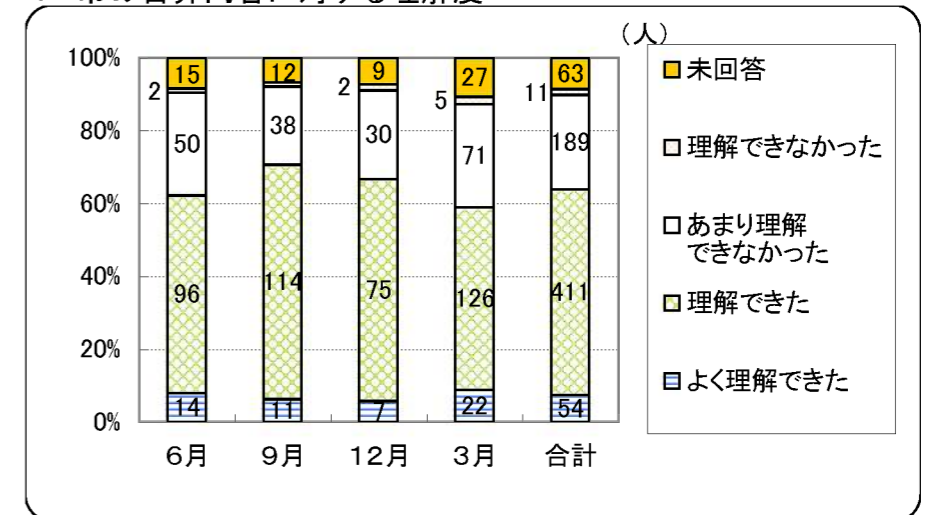
※傍聴者数-48人(↓)
※アンケート平均回収率→約62%(↓)

4 アンケート回答者の職業



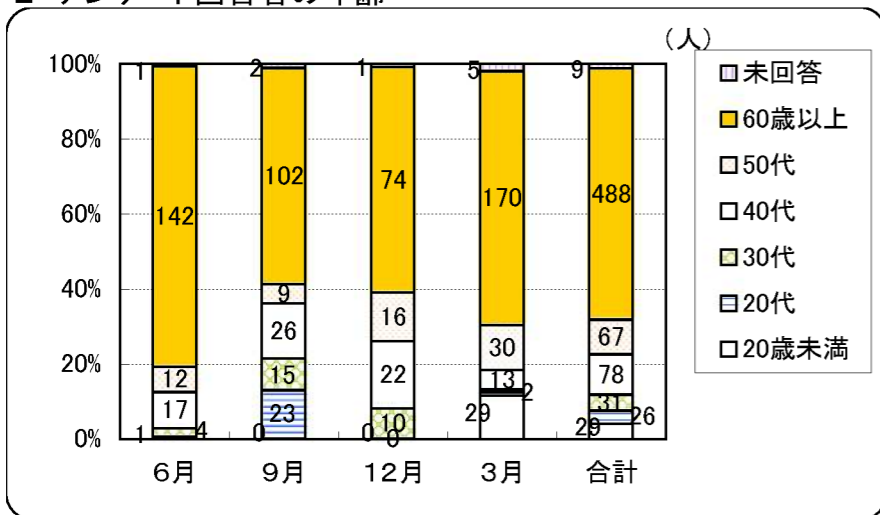
※「その他」の内容⇒農業、区長、無職など

7 市の答弁内容に対する理解度



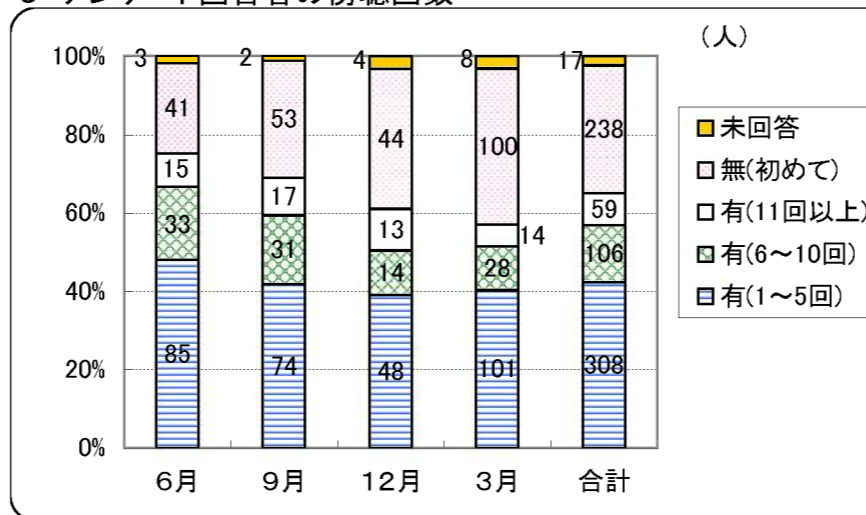
※理解が得られた割合⇒約64%(↓)

2 アンケート回答者の年齢



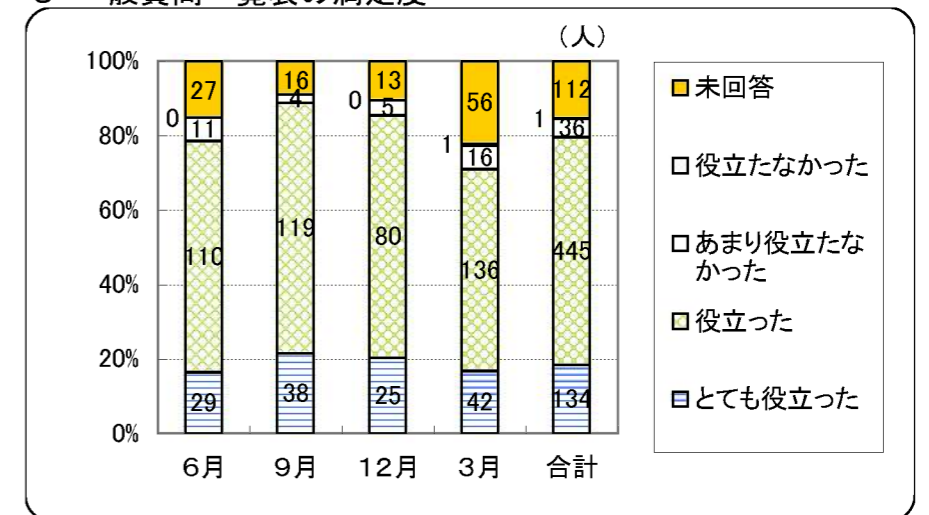
※回答者の約67%(↓)が60歳以上

5 アンケート回答者の傍聴回数



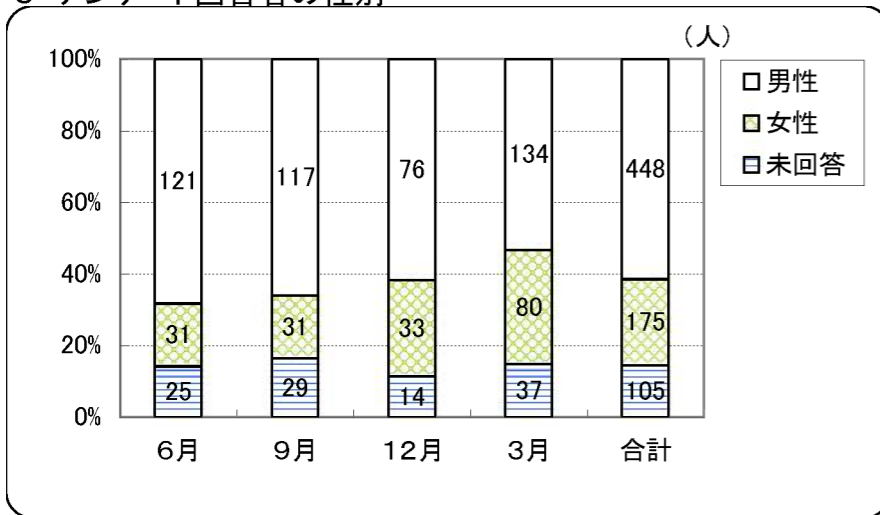
※傍聴回数2回目以上の割合⇒約65%(↑)

8 一般質問一覧表の満足度



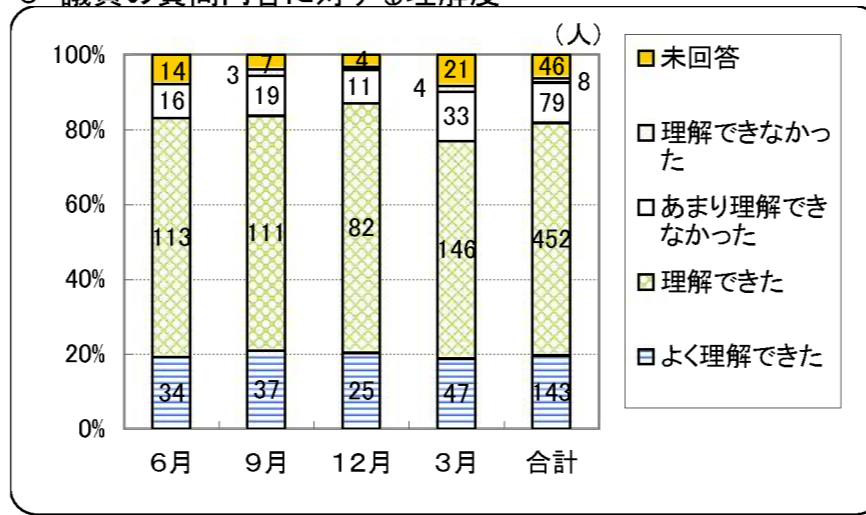
※役に立ったと回答した割合⇒約80%(↑)

3 アンケート回答者の性別



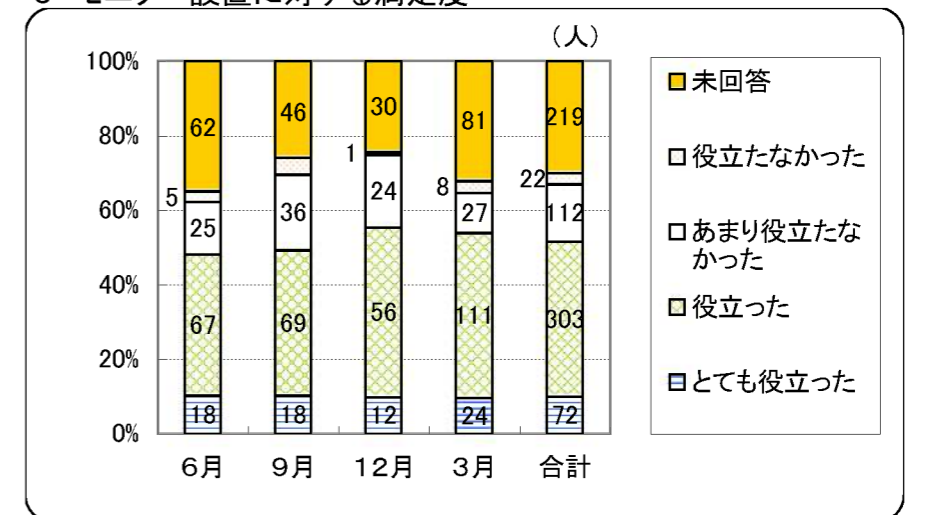
※男性割合⇒約72%(↑) 女性割合⇒約28%(↓)

6 議員の質問内容に対する理解度



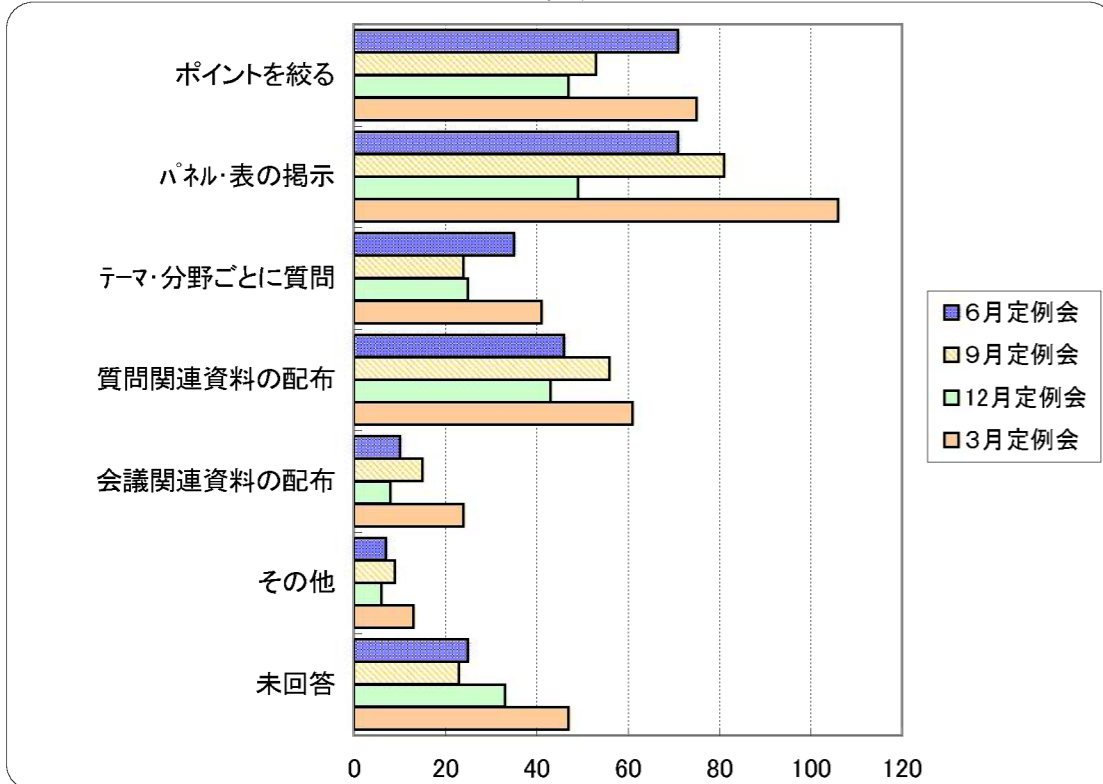
※理解が得られた割合⇒約82%(↑)

9 モニター設置に対する満足度



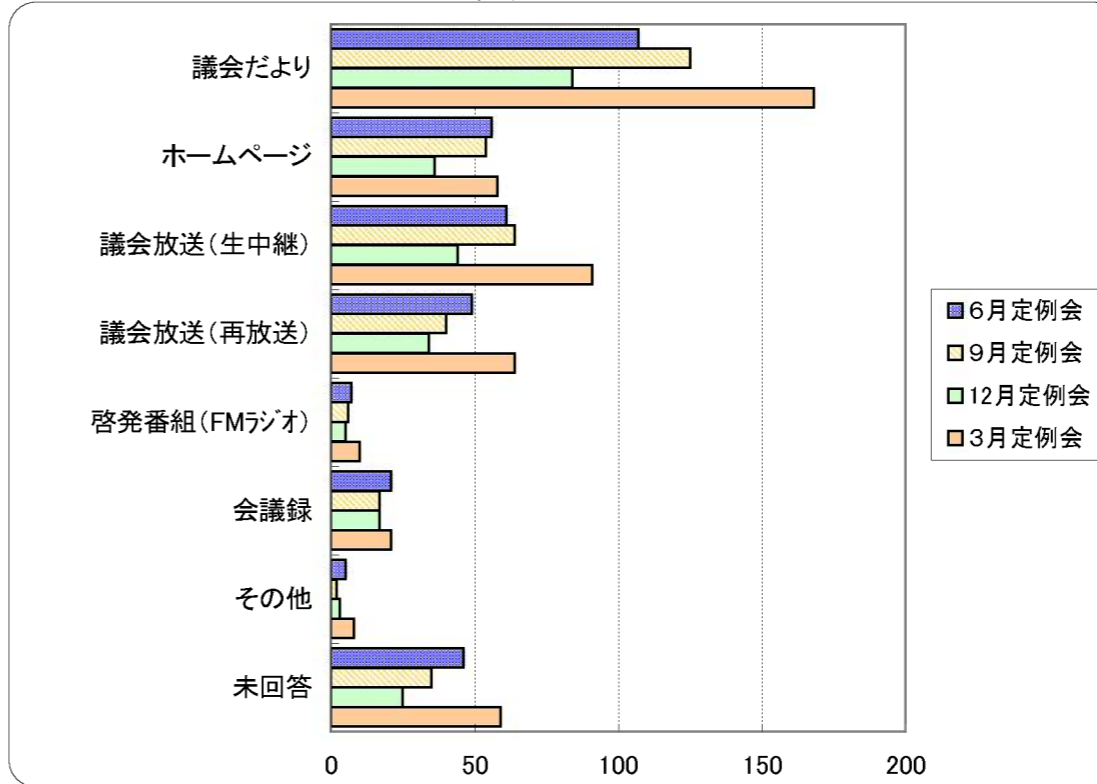
※役に立ったと回答した割合⇒約52%(↑)

10 会議を分かりやすくするためには(複数回答)



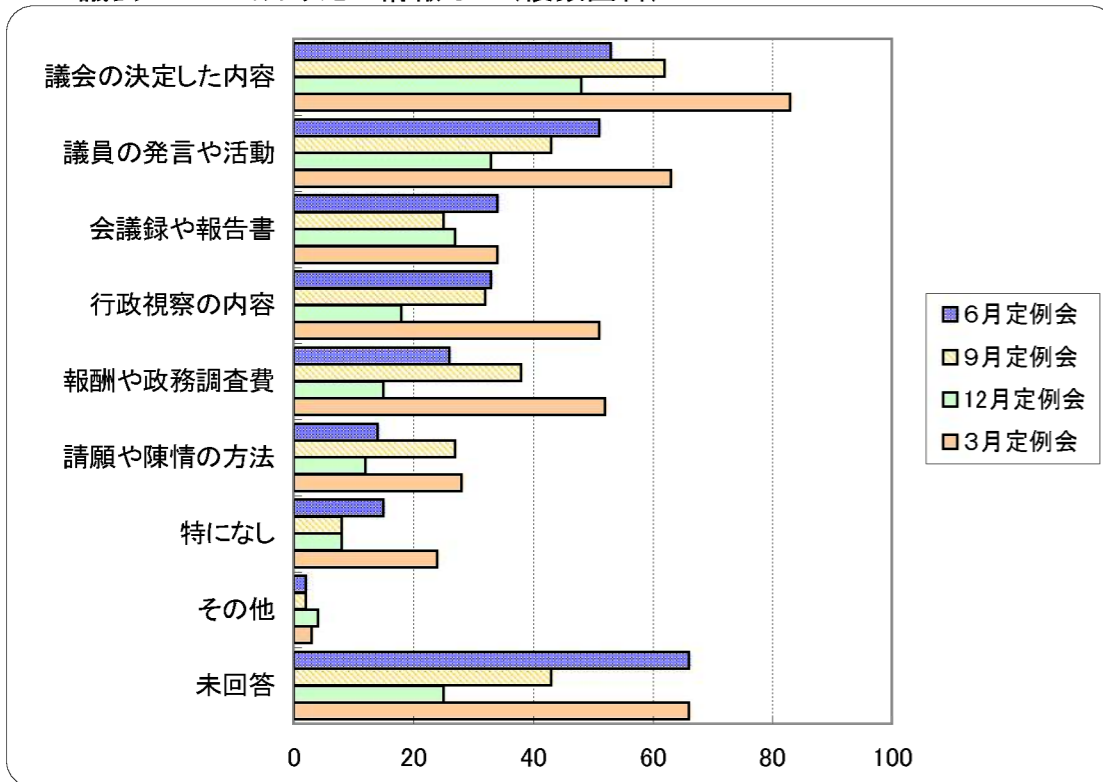
※回答多数順⇒①パネル・表の掲示 ②ポイントを絞る ③質問関連資料の配布

12 こんなことご存知でしたか?(複数回答)



※回答多数順⇒①議会だより ②議会放送 ③ホームページ

11 議会について知りたい情報は?(複数回答)



※回答多数順⇒①議会で決定した内容 ②議員の発言や行動 ③行政視察の内容

その他自由記入欄の内容について(概要)

【質問の内容に対する意見】

- ・その質問をするに至った理由や背景にあるデータ等も「一般質問一覧表」に記載して頂けると、もっと分かりやすくなるのでは。
- ・市から数字やデータ等を聞くだけの質問ではなく、そのデータをふまえた提案型の質問をすべき。

【質問及び答弁方法に対する意見】

- ・ゆっくり、わかりやすい言葉で話して欲しい。
- ・質問・答弁ともに原稿を読み上げるだけでなく自分の言葉で話したほうがよい。(迫力のある質疑になっていない、緊張感がない)。
- ・わかりにくい答弁に対しては、しっかり再質問するべきでは。
- ・議会で質問・答弁がなされたテーマのその後の検討状況、結果を市民に知らせてほしい。

【質問及び答弁の工夫・改善に対する意見】

- ・パネルやプロジェクター・パワーポイントなどビジュアル機器を有効活用すべき。
- ・事前に一般質問の内容をわかり易く市民に知らせる工夫(交流館など)をして欲しい。
- ・聴力の弱いものに対しての配慮があるとうれしい。

【その他の意見】

- ・働いている人などももっと傍聴できるよう会議の日曜開催や午後6時以降の開催などを検討して欲しい。
- ・傍聴に来る人は議会への関心が高い方が多いので、議会中は政務調査報告書や議会会議録を傍聴受付フロアに置いてはどうか?
- ・議場配席図に会派名を記入してほしい。モニターがある場所も明記してはどうか?
- ・受付に点字で記入できるようにして欲しい。